

平成28年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT28025 ヤギから学ぶ飼育動物のいのちと環境



開催日：平成28年8月6日(土)

実施機関：宮城教育大学

(実施場所) (理科共用実験室)

実施代表者：齊藤千映美

(所属・職名) (環境教育実践研究センター・教授)

受講生：小学生11名

関連URL:

【実施内容】

・プログラムの工夫

講義、野外観察、実験、実習、ワークショップを1日の中に配置し、限られた学習機会を最大限に活用し、学習の成果を高めることができるよう工夫しました。暑い時期の実施であるため、野外観察を午前中とし、午後は講義とワークショップを通じて観察したことから考えを深める時間を持ちました。野外活動の安全を確保する観点から、子どもたちを3～4名ずつ班に分け、サポートする学生2名をそこに配置しました。このことにより、1日の活動を通じて学生と子どもたち、また子どもたち同士の交流が可能になりました。アレルギー等健康配慮事項については参加者の保護者から事前に情報を得て、動物とのふれあいや軽食の提供などを確実に安全にできるよう配慮しました。動物とのふれあいは、手洗い・靴底洗浄などを徹底して実施しました。ふれあい動物にはそれぞれ学生を配置し、動物の安全とストレス回避を心がけ、また参加者の事故や怪我の防止に努めました。多くの補助者(学生)が関わる事業でしたが、実施者・補助者が事前に打ち合わせとリハーサルを確実に実施することにより、スタッフ全員が共通理解のもとにプログラムを進行させることができました。

・当日のスケジュール

8:50-9:10	受付
9:10-9:20	開講式(あいさつ、オリエンテーション)
9:20-9:50	講義(動物の飼育と環境エンリッチメント)
9:50-10:10	実験(ストレスをチェックしてみよう)
10:30-11:20	観察(動物および飼育施設の観察)
11:30-12:00	実習(卵の観察、乳搾り)
12:00-12:30	実習(畜産物を調理してみよう)
12:30-13:20	昼食、科研費の説明
13:20-13:50	講義(いろいろな動物飼育の方法)
13:50-15:20	ワークショップ(環境エンリッチメントに挑戦しよう)
15:30-15:50	全体ふりかえり、未来博士号の授与、アンケート記入後、解散

・実施の様子

導入では、はじめに「動物飼育エンリッチメント」について紹介し、動物の飼育環境を本来の生息環境に近づけることの重要性や動物のストレス測定法について学びました。

中盤では、実際にヤギ、ニワトリなどの動物や、施設の観察を行いました。飼育の方法などを観察や飼育に携わる学生たちとの交流から学び、動物のストレス測定にもチャレンジしました。また当日は、卵の観察、ヤギの乳搾り、畜産品の調理実習を行いました。



午後は講義形式でヤギと暮らす様々な人々の生活を紹介した後、ワークショップを実施。動物の行動や生態にふさわしい飼育の施設や飼い方をグループごとに検討し最後に発表会を行いました。



【実施分担者】

【実施協力者】 15 名

【事務担当者】

北澤 優 研究・連携推進課 研究協力係